



静岡ダンプ支部・職場闘争委員会（東部地域）の仲間たち、運動を交流します。

# 2014春闘推進 要求と団結が力

## 静岡ダンプ トン単価から常用単価へ 元請・下請と団交を開催

静岡ダンプ支部に所属している合材職場分会は、「日鋪芝川分会・前田富士分会・日鋪中遠分会・浜岡アスコン分会・日道静岡分会・前田船橋分会・日鋪京葉分会」の7分会があります。

14春闘では燃料高騰分を単価に反映させ、生活がきちんとできるようにしようと、ドンプリ勘定ではなく生計費原則と出荷量や稼働日の予測の元に要求額を決定しました。さらに、「トン単価から常用単価」に変更する論議も踏ま

え、2分会で常用単価への変更要求をしています。また、ある分会のプラントでは応援代車を集められないなど下請業者が機能を発揮できない問題が発生しており、転ばぬ先の杖として、組合が下請業者の運営強化についてプラント側・下請業者と協議することを要求化しているのも今春闘の特徴です。

分会名	主要な単価要求	主要な諸要求
日鋪芝川	合材130円/トン引き上げ	現場待機手当を1時間超えてからの支給に ※現行は1時間半から支給
前田富士	常用単価方式への変更 常用単価を42,000円にすること	消費税の外税化 下請問題での工場長と組合の協議会設置
日鋪中遠	合材140円/トン引き上げ 材料600円/車引き上げ	定例の安全会議の実施 稼働日数年間240日の実現 (営業強化)
浜岡アスコン	常用単価方式への変更 常用単価を43,000円にすること	公平・効率的な配車の実現 定例の安全会議の実施
日道静岡	合材150円/トン引き上げ 材料200円/トン引き上げ	休憩所の整備

静岡ダンプ支部 2014 春闘の取り組み

NI P P O 伊勢崎分会  
台引き・常用単価改善  
群馬ダンプ支部のNI P P O 伊勢崎分会では、今年5月にNI P P O 関東第二支店及び中間下請業者と単価問題で交渉し、「合材トン引き2千円、常用3千2百円、碎石引取り(台引き)約2千円」をそれぞれ引き上げることができました。この発端は、昨年12月からの日額・最低保障3万4千円を今年3月末でいったん打ち切るとの宣告を受けたことからのでした。消費税や燃料費が上がる中で「このままではやっていけない」と分会の仲間は立ち上がり、要求書を出して交渉をした結果です。



山城生コン分会の過積載根絶・単価闘争の到達点を確信にしよう(5月25日沖縄県内)

### 職場闘争 建交労排除を止める 解雇撤回闘争を展開

秋田ダンプ

秋田ダンプ支部は、今年4月に運転手9人で「西山運輸分会」を結成しました。ただちに団体交渉もおこない、「就業規則の周知、有休の取得、過積載・スピード超過の強制はしない、定期健康診断を実施すること」などを確認、合意しました。しかし直後に会社は組合結成の中心にいた山中重晴さん(61歳・大型ダンプの運転手)に対して、時給670円のアルバイト運転手にするという一方的な通知をおこない、その4日後には業務命令でプラント作業員を命じました。さらに会社は脱退工作をおこない、7人が組合を脱退しました。残った2人のうち1人はダンプの乗務をおろされて会社を辞めた為、山中さんのみが組合に残っています。山中さんは配置転換に従い、指示された

「土のう袋」に砂をつめる作業をこなしましたが、やがて必要がなくなり仕事をさせてもらえなくなりました。また、1か月の賃金プラスアルファのお金を出すから会社をやめられないかと社長が働きかけてきました。これに応じない山中さんに対して会社は5月20日に解雇を通知しました。

最後に、運動方針案を採択し、役員体制を選出して終了しました。

- 役員体制
- 議長 長 東江 勇
  - 副議長 長 又吉 和一
  - 事務局 長 他3名
  - 事務局 長 當間 鉄平